

令和元（2019）年 5 月 30 日

第 3、4、5 学年保護者 様

神戸大学附属中等教育学校
校 長 藤田 裕嗣

2019 年度グローバル・アクション・プログラム（GAP）
「臨海実習」について（案内）

立夏の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動に、御理解と御協力をいただき、まことにありがとうございます。

さて、本校ではグローバルキャリア人の育成を教育目標として掲げており、ESD（Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育）推進事業等、様々なプログラムを実施しております。

つきましては、その取組の一環として下記のとおり、「臨海実習」を実施いたしますので、御案内申し上げます。

記

1 目 的

- (1) 自然環境を自らの五感で体験する。
- (2) 藻類をはじめとする生物の進化と、海洋生物の多様性について学ぶ。
- (3) 専門家の研究を知り、生徒自身の探究活動の深化につなげる。
- (4) 海洋をふくむ環境問題とその対策とマクロとミクロの両観点に立って考え、自然環境に対する視野を広げる。

2 日 程 令和元（2019）年 8 月 5 日（月）～6 日（火） [1泊2日]

3 場 所 実習施設
神戸大学 自然科学系先端融合研究環 内海域環境教育研究センター(KURCIS)
兵庫県淡路市岩屋 2746 TEL:0799-72-2374
宿泊施設
ペンション山一屋
兵庫県淡路市岩屋 2593-2 TEL: 0799-72-5539

4 講 師 神戸大学理学部生物学科 川井浩史教授（内海域環境教育研究センター長）

5 参加定員 3 年生～5 年生 15 名

6 主な内容 ウニの発生観察、生物採集、分類、顕微鏡観察、標本作成、講義
・施設前の海岸で藻類や原生生物を採集し、系統に従って分類します。
・その後顕微鏡での観察や、独自製法による生物標本の作成を行います。
・川井教授による生物の起源・共生および多様性に関する講義を受けます。
・ウニの受精卵および胚を用いた発生過程を観察します。

7 選考方法 ・応募者多数の場合、課題作文をもとに参加者を選考します。
また必要に応じて面接を実施する場合があります。面接については後日詳細を連絡します。
・審査において評価が同等の場合は上級生を優先します。

8 費 用 自宅から施設への交通費、宿泊費・食事代、傷害保険料等(15,000 円程度)は自己負担とします。

9 申込方法 参加を希望される方は別紙の申込用紙に記入のうえ、6 月 19 日（水）18:00までにグローバル教育推進室まで御提出ください。

10 照 会 先 グローバル教育推進室（第 5 学年・理科教諭） 副島 （TEL 078-811-0232）